

「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」改定に係る

環境審議会の提言及び素案について

1. 第 63 回環境審議会の提言

「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」の改定につきまして、前回の第 63 回環境審議会におきまして、議論いただきましたご意見等に対する市の考え方は以下のとおりです。

① 開催日：平成 29 年 10 月 6 日（金）

② 提言と市の考え方

No	環境審議会の提言	市の考え方
1	明石市のめざす環境像（理念・姿）のイメージがはっきりしない。しっかりとした将来のビジョンを定める必要がある。	明石市のめざす環境像は、豊かな未来への夢を 100 年先まで持ち続けていたいという市民の想いを表しており、また、地球温暖化対策以外の分野も含めていることから、分野ごとのビジョンについては、各個別計画において示して参ります。本計画では、環境配慮と経済活動が両立した住み続けたい“低炭素社会のまちあかし”の実現を目指して、「ストップ温暖化！低炭素で魅力と活気あふれるまちあかし」を将来ビジョンとして設定しております。
2	1992 年にリオで開催された地球サミットで、国際機関が実行すべき計画としてアジェンダ 21 が採択されたが、この計画においても具体的なビジョンを定めなければならぬはず。	
3	温室効果ガス排出量要因分析のグラフに多数の色を使っており、色の違いが分かりにくい。	グラフの見やすさを考慮し、配色の工夫や表記方法を変更いたします。
4	温室効果ガス排出量要因分析では、廃棄物に関する分析がされていない。ごみ問題は市民にとって一番身近なものなので、分析したほうがよいのでは。	廃棄物部門についての要因分析を追加いたします。（計画素案 23 ページ）
5	地球温暖化推進施策を 5 つの戦略に分類しており、戦略 5 に循環型社会の形成に関するものがあるが、この循環型社会の形成が温暖化対策に繋がることが市民には伝わりにくい。	戦略 5 の説明文を循環型社会の形成が地球温暖化対策に繋がることがわかる内容に改めます。（計画素案 29 ページ）
6	地球温暖化推進戦略 5 の循環型社会の形成欄に、3R の推進と書かれているが、国では 7R 表記をしていると思う。2、3、5、7R など、いろいろあるが、明石市ではどれを推進するのか。	一般廃棄物処理基本計画（みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン）の基本方針に記載のとおり、基本理念の実現を図るために 3R を中心とする「減量・資源化」の推進等に取り組んで参ります。（計画素案 29 ページ）
7	戦略 1 の⑫学校教育課が実施する「勤務時間の適正化による省 CO ₂ の推進」で「ノー部活デー」の記載があるが、部活は子どもたちの活動なのでこの記載はどうか。	「ノー部活デー」は、教職員の超過勤務の適正化による省 CO ₂ の推進に繋がる面もありますが、主な目的として生徒の過度な活動によるスポーツ障害を防ぐだけでなく、休養や規則正しい生活により、ケガの防止や効率的な活動に繋げる取り組

		みです。従いまして、「ノー部分活デー」の主目的が本計画の省エネ・省CO ₂ の趣旨と異なるため「ノー部分活デー」の文言のみを施策から除くこととします。(計画素案 30 ページ)
8	戦略3の②に漁業分野における高効率機器の導入とあるが、機器を更新すると将来はこうなるという指導や目に見える形でのサポートをお願いしたい。	庁内で連携を取り、普及啓発等を実施していきます。
9	P19 温室効果ガス排出量の削減目標について、表3の下段、2013年度比の削減率(国・県・市等)の合計が、記載されている26.3%にならない。	小数点以下の端数処理の関係で、各欄の数値と合計に0.1%差異があります。注釈に合計欄が一致しない旨を追記します。(計画素案 27 ページ)

2 本計画の主な見直し項目

(資料2「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」素案)

(1) 基準年度及び目標年度の変更

現計画では、基準年度を平成2年度としていましたが、新計画では、現段階で推計可能である平成25年度を基準年度としました。また、目標年度を(中期)平成32年度としていましたが、新計画では、中長期的な視点に立って平成42年度を目標年度としました。

(2) 削減目標率の変更

現計画では、削減目標率を25.0%としていましたが、新計画では、本市の具体的施策の促進・普及啓発による広範な意識向上、さらにあらゆる主体による取り組みの実施により、具体的な対策・施策等の効果を積み上げて削減目標率を26.5%に変更しました。

(3) 本市が取り組む施策及び目標指標の追加

現計画に掲げていた本市が取り組む施策の実施状況を検証し、11施策を終了、13施策を一部変更、10施策を新たな施策として設定しました。

また、明石市としての取組状況を明確なものとし、定期的な評価・改善に活用するため、温室効果ガス排出削減量とは別に具体的施策に定量的な進捗管理目標を設けました。

(4) 先進的な取り組み・導入の検討

地域経済・社会活性化を視野に入れ、地域エネルギーの地産地消など温暖化対策の推進に関する先進的な取り組み・導入の調査研究を行って参ります。

3 今後の予定

平成30年 1月	意見募集(パブリックコメント)
2月	環境審議会に意見募集結果の報告
5月	環境審議会から計画案を答申
6月	ホームページにて計画公表